

鳥取大学乾燥地研究センター 平成21年度共同研究発表会プログラム

開催日：平成21年12月8日（火）

場所：鳥取大学乾燥地研究センター
合同ゼミ・多目的室

鳥取県鳥取市浜坂1390
TEL 0857(23)3411 / FAX 0857(29)6199

日 程

- | | |
|----------------------------|---------------|
| I. 開会の挨拶 | (9:30~9:40) |
| II. 共同利用研究員による研究成果発表（口頭発表） | (9:40~12:10) |
| 休憩（昼食および乾燥地研究センター案内） | (12:10~13:10) |
| III. ポスターセッション | (13:10~14:30) |
| IV. 共同利用研究に関する概要説明 | (14:30~15:15) |
| 休憩 | (15:15~15:30) |
| V. 共同利用研究に関するパネルディスカッション | (15:30~16:30) |
| VI. 閉会の挨拶 | (16:30~16:40) |
| 情報交換会 | (17:00~19:00) |

研究発表会プログラム

- I. 開会の挨拶 恒川 篤史 (乾燥地研究センター長) (9:30~9:40)**
- II. 共同利用研究員による研究成果発表 (口頭発表) (9:40~12:10)**
1. 計画研究 A-I : 乾燥地域における土壤水分と黄砂の現地観測
～モンゴル草原、タクラマカン砂漠、オーストラリア休耕農地の結果～
研究代表者: 三上 正男 (気象庁 気象研究所・第二研究室長)
9:40~10:00
 2. 計画研究 A-II : 点滴灌漑条件下における温室効果ガス発生
研究代表者: 登尾 浩助 (明治大学 農学部・教授)
10:00~10:20
 3. 計画研究 A-III : 雜穀の耐乾性・耐塩性機構の解析
研究代表者: 松浦 朝奈 (東海大学 農学部・准教授)
10:20~10:40
 4. 計画研究 A-IV : モンゴル草原におけるヨモギ属 *Artemisia adamsii* から発散する 挥発性物質が他の植生の成育に及ぼす相互作用に関する基礎研究—アレロパシーと干ばつの事例—
研究代表者: 西原 英治 (鳥取大学 農学部・准教授)
10:40~11:00
- 休憩
11:00~11:10
5. 計画研究 A-V : 塩生植物における耐塩性メカニズムの種特性(ヒルギダマシ *Avicennia marina*)の塩腺から分泌される塩類の日変化と環境要因
研究代表者: 谷口 真吾 (琉球大学 農学部生産環境学科・准教授)
11:10~11:30
 6. 計画研究 A-VI : 地中点滴灌漑における根群域上部への塩類集積の予測と対策
研究代表者: 藤巻 晴行 (筑波大学 生命環境科学研究科・准教授)
11:30~11:50
 7. 特別研究 B-I : エジプト灌漑システムの学際的研究 — 地域研究と自然科学 の共同研究の事例
研究代表者: 加藤 博 (一橋大学 大学院経済学研究科・教授)
11:50~12:10
- 休憩 (昼食および乾燥地研究センター案内) (12:10~13:10)
- III. ポスターセッション (13:10~14:30)**
- 共同利用研究員
1. 計画研究 A-I : 飛砂臨界風速と熱慣性値との関係について
研究代表者: 松島 大 (千葉工業大学 工学部・准教授)
 2. 計画研究 A-III : 北東アジアの砂漠化した草原地域に生育する植物の環境ストレスに対する反応
—中国およびモンゴルに生育する *Agropyron cristatum* と *Caragana microphylla* の水ストレス—
生長反応の比較解析—
研究代表者: 清水 英幸 (国立環境研究所 アジア自然共生研究グループ・主席研究員)
 3. 計画研究 A-VI : 半乾燥地の灌漑農地における物質動態に関する研究
研究代表者: 西村 拓 (東京大学 大学院農学生命科学研究科・准教授)
 4. 自由研究: モンゴルの典型草原の生産力と遊牧による利用
研究代表者: Urianhai Nachinshonhor (国立民族学博物館・外来研究員)
 5. 自由研究: 乾燥地における都市開発の動向と課題に関する予察的研究
研究代表者: 山下 博樹 (鳥取大学 地域学部・准教授)

6. 自由研究:モンゴルにおける降水メカニズムとその経年変動に関する研究
研究代表者:木村 圭司(北海道大学 大学院情報科学研究科・准教授)
7. 自由研究:風紋の登坂降坂限界傾斜角
研究代表者:小玉 芳敬(鳥取大学 地域学部・准教授)
8. 自由研究:モンゴル国ボルガン県における遊牧用ゲルの設営地選択と微気象の関係
研究代表者:森永 由紀(明治大学 商学部・教授)
9. 自由研究:乾燥地における鉱産資源と産業開発
研究代表者:北川 博史(岡山大学 大学院社会文化科学研究科・准教授)
10. 自由研究:モンゴルにおける干ばつ・ゾド診断モデルの改良と温暖化影響推定への適用
研究代表者:立入 郁(海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター・特任研究員)
11. 自由研究:乾燥地における再生可能エネルギーを利用した造水技術に関する研究
研究代表者:田川 公太朗(鳥取大学 地域学部・准教授)
12. 自由研究:自然風の風速変化パターンの解析と鳥取砂丘における鉛直軸風車の野外実験
研究代表者:原 豊(鳥取大学 大学院工学研究科・准教授)
13. 自由研究:脂質アルデヒド解毒能を高めた植物の強光耐性機構の解明
研究代表者:真野 純一(山口大学 総合科学実験センター・准教授)
14. 自由研究:半乾燥地難防除植物メスキート由来の有用物質の探索
研究代表者:杉本 幸裕(神戸大学 大学院農学研究科・教授)
15. 自由研究:合成6倍体コムギ系統の耐乾性関連形質の生理学的評価および連鎖不平衡解析
研究代表者:辻本 壽(鳥取大学 農学部・教授)
16. 自由研究:モンゴル国ステップ地域における表層土壤の炭素および窒素動態に及ぼす
風成堆積物の影響
研究代表者:浅野 真希(筑波大学 大学院生命環境科学研究科・准研究員)
17. 自由研究:乾燥地の生物生産に関する土壤要因の比較研究
-アルカリ土壤における鉄力あぐり、含鉄資材の合理的施肥法
研究代表者:長谷川 和久(石川県立大学・名誉教授)
18. 自由研究:黄土高原における河川水質の時空間的変動
研究代表者:館野 隆之輔(鹿児島大学 農学部・准教授)
19. 自由研究:安定同位体比を用いた海浜植物の水利用特性と耐塩性の評価
研究代表者:松尾 奈緒子(三重大学 大学院生物資源学研究科・講師)
20. 自由研究:水耕栽培による御柳(*Tamarix*)の耐塩特性の評価
研究代表者:岩間 憲治(滋賀県立大学 環境科学部・准教授)
21. 自由研究:異なる灌漑条件下における蔬菜の生育と品質
研究代表者:近藤 謙介(鳥取大学 農学部附属フィールドサイエンスセンター・助教)
22. 自由研究:乾燥地土壤における2成層湛水降下浸潤に伴う浸潤前線の不安定化に関する研究
研究代表者:長 裕幸(佐賀大学 農学部・教授)
23. 自由研究:中国甘粛省アルカリ塩類土壤におけるブドウの初期生育に対する含硫有機物資材
施用効果
研究代表者:石川 祐一(秋田県立大学 生物資源科学部・助教)
24. 自由研究:音波の共鳴現象を利用した連続土壤空気量と通気性の測定技術の開発
研究代表者:中村 公人(京都大学 大学院農学研究科・講師)
25. 自由研究:土の毛管障壁機能を利用した節水農法に関する研究
研究代表者:森井 俊広(新潟大学 農学部・教授)

● 鳥取大学乾燥地研究センタープロジェクト研究員

26. ダスト発生臨界風速の経年変化と植生の影響
研究代表者: 黒崎 泰典(プロジェクト研究員)
27. 砂丘地の地質構造と地下水の水みちに関する研究
研究代表者: 河合 隆行(プロジェクト研究員)
28. モンゴル・グレートゴビ A 厳重保全地域の植生
研究代表者: 程 云湘(プロジェクト研究員)
29. 塩類条件下が合成六倍体コムギの発芽および幼苗期に与える影響について
研究代表者: 森谷 慈宙(プロジェクト研究員)
30. アメリカ南西部の乾燥地におけるタマリスクの成長について
研究代表者: 今田 省吾(プロジェクト研究員)
31. アメリカ合衆国・モハベ砂漠に生育する植物の浸透調整物質蓄積について
研究代表者: 岩永 史子(プロジェクト研究員)

IV. 共同利用研究に関する概要説明

(14:30～15:15)

1. 「共同利用・共同研究拠点について」 14:30～14:45
恒川 篤史 (乾燥地研究センター長)
2. 「平成22年度共同利用研究の公募について」 14:45～15:00
井上 光弘 (共同研究委員)
3. 「共同利用施設・設備の整備について」 15:00～15:15
山中 典和 (共通施設設備委員長)

休憩

(15:15～15:30)

V. 共同利用研究に関するパネルディスカッション

(15:30～16:30)

「新しい共同利用研究について」

コーディネーター: 森田 茂紀

VI. 閉会の挨拶 安養寺 久男 (副センター長)

(16:30～16:40)

情報交換会

(17:00～19:00)

時間、タイトル、発表者等は変更になる場合があります。